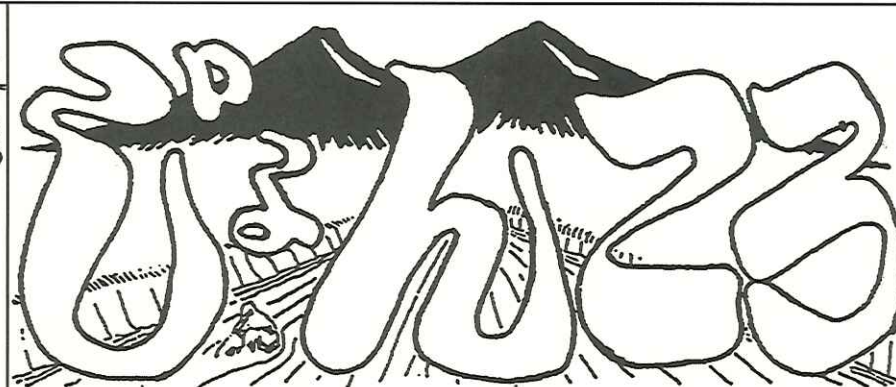
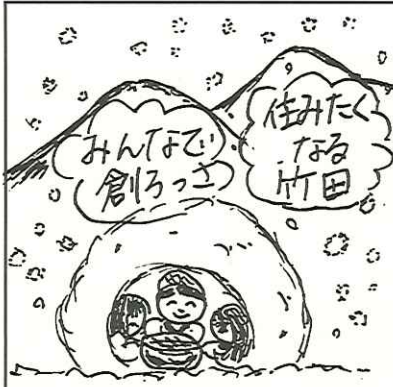




No.295

発行 竹田コミュニティセンター
編集 竹田広報委員会

〒910-0204
福井県坂井市丸岡町山竹田119-3
TEL 0776-67-2543
FAX 0776-67-2543
E-mail:takeda-cc@city.fukui-sakai.lg.jp

就任の ごあいさつ

竹田地区区長会長

木村甚一郎



皆様、ご健勝にて新年をお迎えられたこととお慶び申し上げます。

本年は、年明け早々、三年前を思い出すような記録的な大雪、県道の通行止めや、高速道路では、一五〇の台余りの車両の立ち往生、そしてまた、福井県新型コロナウイルス感染症拡大警報の発令など大変不安なニュースが始まった年です。しかし、ワクチン接種などの明る、陽射しが見えてきました。一日でも早い終息を願うばかりです。

今は、しばらくの辛抱。牛のようにつくつくと、そして当たり前の日々が過ぎるのを待つことしかないもどかしさがありますが、今まで以上の楽しい生活が迎えられる日が来ることを心待ちにしていたきたいと思います。

私たちも公助に対する働きかけを強め、一日も早く当たり前前の生活ができるよう努力いたしますので、地区民の皆様は今まで以上のご協力をお願い申し上げます。して就任の挨拶とさせていただきます。

着用を
習慣にしよう！
マスク



岡公民館前の雪の山！！
いつになつたところのかなあ～

年明け1月8日から降り始めた今回の大雪は、平成30年の大雪より少し少ない約130センチの積雪となった。一気に降り積もったため除雪が難航した。地区内の道は、12日ようやく開通し、道幅がなくなったのは、15日となる。国道364号線は、地区民のみ

令和3年新区長紹介

1月21日(木)の予定が大雪の影響で延期となり、2月3日(水)に、丸岡地区区長会が霞の郷で行われました。各區長に委嘱書が交付されました。

竹田地区区長会の役職は次のとおり決まりました。

会長 木村甚一郎(山竹田)
副会長 坪川 正雄(曾谷)
会計 村本 国広(岡)
監事 福澤 純一(山口)

3年ぶりの大雪に悪戦苦闘

地区内の除雪作業、
昼夜を問わずの連日の除雪作業、
ありがとうございました。



山竹田地区内の
道を除雪中



あちこちで屋根の雪下ろし作業
手慣れた地区のみなさんと(中・右)
ふるさと協力隊の栗生君は初めての作業に奮闘中(左)

雪かきボランティアの
青年
よう～きなつたの～
ありがとうございます。

お・あ・し・す

今日は一人娘の5歳の誕生日。母の雪音(ゆきね)さんは娘の真白(ましろ)さん(お祝いを連れて、誕生日のお祝いを買いに出かけました。お目当ては、娘が大好きな「くまのプーさん」の形をしたマグカップ。

真白ちゃん(は生まれつき、眼がほとんど見えません。だから、街に出かける時はお母さんの手をギュッと握ります。買い物を終え歩いて

っていると、後ろから走ってきた青年のカバンが真白ちゃんの手に当たり、持っていたマグカップが地面に落ちて割れてしまいました。青年は急いでマグカップを拾い上げ、「ごめんない。お名前は何？」真白。きょう、5さいになったの。青年はしばらく考え、「時間したら、必ず戻ってきます」と、雪音さんに自分の名刺を渡し走り去ってしまいました。しかたなく雪音さんは近くのベーカリーショップに入り、娘の好きなクリームパンを買い、店前のベンチに座り時間を潰すことにしました。

1時間はもう過ぎたでしようか。向こうから息を切らし走ってくる人が。ベンチの前に着くと真白ちゃん。お誕生日おめでとう。商談を終えた、先ほどの青年です。片手に紙袋。もう片手には真っ白なバラの花束。真ん中には、5本の真ッ赤なバラが添えてありました。紙袋の中身は。ちろん「くまのプーさん」の花瓶でした。

(邦)

心の距離 3密避けても 繋がる輪



自然薯の出来を確認する審査員
(山あいの宿がわがわにて)



坂井市長賞に 堤 平蔵さん

第33回
竹田自然薯組合
品評会
12/11

コミセン講座「寄せ植え講習会」



令和3年は気持ち良く迎えられますように！



たくさんの花を順序よく
鉢に詰めていきます

12月20日(日)竹田コミ
ユニティセンターにて、
「寄せ植え講習会」が開
催されました。参加者17名
(有)見谷サチ子先生に
見谷 春美先生に
指導いただきました。

「松、竹、ギョウリウバイ、
おたふく南天、カルーナ、
ハボタン、ケツカベリ」
を鉢に寄せ植えします。
お正月が近づいたら、賀正
のアレイトなどを飾り付
けます。

コロナ禍の中、ご家族
の「健康祈願」を込めて
作製されていました。

ちよこつと豆知識
ハボタンの赤と白の意味
白はご主人様、赤は奥様
を表すようです。



- 最優秀賞(坂井市長賞)
堤 平蔵さん
 - 坂井農林総合事務所長賞
中川 輝雄さん
 - 福井県農協組合長賞
廣瀬 哲夫さん
 - 福井新聞社賞
大森 秀治さん
 - 竹田自然薯生産組合長賞
坪川 智育さん
- ちよこつとぼんぼんさん
おめでとーございます。

見事な職人技！
あつという間にこの長さ！



元小学3年生の教室いっぱい
吊り下がった、かきもち

つまいざあ
おばあのかきもち

1月22日(金)竹田農山
村交流センター「ちよこつ
ぼんぼん」で、ただ加工
部のみなさんは、かきもち
づくりの最盛期で忙しく作
業に精を出していました。
竹田産のもち米で寒に入っ
たころから作り始まり、2
週間くらいかけて吊るし干
していきます。その年の天
候により経験と勘で判断す
るようでした。



8組40名の参加者が個性
豊かなかきもちを作ってい
ました。白い雪に溶剤で
色を付けカラフルなかきも
ちが並んでいました。
夕方、地区の方々が集ま
り、神事、どんど焼が行
われました。無病息災を祈
願しました。願い事を書い
た短冊の冬たなばたも一緒
に燃やし祈願しました。

こんな
ところに
サメが出現!!



先日、竹田の里づくり協
議会のホームページの「竹
田の歴史」を見ていただ
いた方からの問い合わせが
ありました。改めて読んでみ
ると、この小さい村が丸岡
藩・福井藩と分かれていて、
当時はもっと集落があった
ようです。どんな景色だっ
たのだろう。想像してみる
のもおもしろい。
令和となって早やう年と
なり、今年は楽しい記事が
載せられるようがんばりま
す！
(ぶ香)

山崎 雪枝さん
(山口 90歳)
澤村 とめ子さん
(岡 90歳)

竹田の里づくり協議会



見に来てね！
4月10日(土)～
4月24日(土)
ライトアップ PM6:30～PM9:30

イベントガイド 行事

3月
6日(土) 竹田婦人会総会
21日(日) 坂井市成人式
《会場 ハートピア春江》
第1部 三国町・春江町在住の方
第2部 丸岡町・坂井町在住の方